

事業シート(平成30年度決算)

事業名	52100 畜産事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
	款	5	農林水産業費		個別分野	7	畜産業						
	項	2	畜産業費		施策概要	1	活気ある畜産生産地づくり						
	目	1	畜産総務費		根拠計画								
担当課	農政部 畜産課	内線	2240										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・畜産業の振興を図る。	概要	・飛騨畜産振興会の活動支援、畜産委員への報酬等
----	-------------	----	-------------------------

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
畜産粗生産額(年間)	104億円	102億円	79億円
「地元の畜産物が広く消費され、畜産業が活性化している」と感じている市民の割合	72.3%	74.1%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		1,041	1,010	1,715	1,715	1,498	488
特定財源	国費()						
	県費(県移譲事務交付金)	30	30	30	30	30	0
	その他(敷地占有料、財産収入)	36	40	1,471	1,471	1,468	1,428
一般財源		975	940	214	214	0	△ 940
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨畜産振興会負担金	761	761	1,135	1,135	1,135	374
	動物愛護フェスティバル実行委員会負担金		0	300	300	120	120

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
1,014	1,043	1,043	△ 672
30	30	30	0
40	36	36	△ 1,435
944	977	977	763
査定額	説明		
743			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・飛騨畜産振興会(飛騨3市1村及びJAなどで構成)で、畜政活動・畜産経営指導・共進会・家畜伝染病への対策と対応などを実施
評価等	・飛騨畜産振興会の活動への負担により、飛騨地域としての畜産振興が効率的に行われている。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・飛騨畜産振興会(飛騨3市1村及びJAなどで構成)で、畜政活動・畜産経営指導・共進会・家畜伝染病への対策と対応などを実施 ・動物愛護フェスティバル実行委員会(県、飛騨3市、県獣医師会などで構成)で、動物愛護イベントを計画したが台風の影響により中止となった。そのため準備経費と動物愛護作文・絵画コンクール開催経費以外の経費ついて不執行となった。
評価等	・飛騨畜産振興会の活動への負担により、飛騨地域としての畜産振興が効率的に行われている。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	
担当課予算要求ポイント	

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成30年度決算)

事業名	52205 繁殖雌牛導入支援事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
	款	5	農林水産業費		個別分野	7	畜産業						
	項	2	畜産業費		施策概要	4	担い手の育成・確保						
	目	2	畜産振興費		根拠計画								
担当課	農政部 畜産課	内線	2240										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・飛騨牛繁殖基盤を確保・拡大し、畜産の安定経営を図る。	概要	・繁殖牛導入資金を借りた場合の利子、保証料を補給する。
----	-----------------------------	----	-----------------------------

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
肉用牛繁殖雌牛頭数	3,428頭	3,515頭	3,400頭

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H29		H30			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		31,000	24,100	50,841	50,841	49,950	25,850
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(基金繰入金)	31,000	24,100	50,841	50,841	49,950	25,850
一般財源			0	0	0	0	0
個票枝番	主な事業内容						
◎ 1	繁殖雌牛導入資金融資利子補給金(債務負担)・保証料補給金			1,620	1,620	730	730
	県補助金返還			49,221	49,221	49,220	49,220
	後継者等肉用牛貸付事業	31,000	24,100				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		2,400
要求額	財務部査定額	市長査定額 (d)	増減 (d)-(c)	
2,362	3,400	3,400	△ 47,441	
	3,400	3,400	△ 47,441	
2,362				
査定額	説明			
3,400				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・貸付頭数 高齢者 39頭、後継者等17頭
評価等	・畜産農家戸数が減少する中、前年に引き続き繁殖雌牛飼養頭数が増加した。(H28→H29頭数+2.6%) ・大規模飼養農家ばかりでなく、小規模飼養農家にとっても繁殖雌牛の保留や導入が可能であり、経営継続に効果がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・導入資金保証料補給 15件 42頭 ・導入資金利子補給 4件 32頭 ・畜産振興基金の廃止に伴い県補助金を返還
評価等	・平成29年度まで実施してきた後継者等肉用牛貸付事業を廃止し、平成30年度から繁殖雌牛導入支援事業を開始した。農家の繁殖雌牛の保留や導入を目的とした、金融機関資金の融資に対し、保証料や利子補給支援を行うことで、農家経営の安定と繁殖雌牛の増頭に効果があった。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・畜産農家の増頭支援のための利子・保証料補給に要する経費を計上
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成30年度決算)

事業名	52205 繁殖雌牛導入支援事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> H30新規	<input type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農政部 畜産課
			<input type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	5	農林水産業費		
枝番・内容	1 繁殖雌牛導入支援利子・保証料補給	<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	畜産業費	内線	2239	
		<input type="checkbox"/>		目		2	畜産振興費	作成年月	R1.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・飛騨牛繁殖基盤を確保・拡大し、畜産の安定経営を図る。	概要	・繁殖牛導入資金を借りた場合の利子、保証料を補給する。
----	-----------------------------	----	-----------------------------

【参考】H29決算(Do-Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H30当初予算(Action) H30.3時点 (千円)

予算額	当初	1,620
主な経費	・利子補給金 ・保証料補給金	
	対前年度増減額(当初予算)	
		1,620

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	1,620
	繰越	
	補正等	
	最終	1,620
決算額		730
対前年度増減額(決算)		730

H31当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	3,400
主な経費	・利子補給金 ・保証料補給金	
	対前年度増減額(当初予算)	
		1,780

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <p>・これまでの牛貸付制度から利子・保証料補給を行う融資制度に見直すとともに、より改良や増頭につながる内容とする</p> <p>(1) 利子・保証料補給 貸付金利(農業近代化資金相当)1.6%⇒ 全額利子補給(市→金融機関/農家) 保証料(一般資金補給料率)0.4%⇒ 全額初年度一括補給(市→農家)</p> <p>(2) 貸付対象牛の拡大 優良雌牛保留対策事業(補助事業)の対象牛の補助残額を対象に加える(導入される繁殖雌牛全てを対象とする)</p> <p>(3) 自己保留も対象 自己保留も改良・増頭の主流であるため対象とする</p> <p>・これまでの牛の貸付制度から融資制度に見直すため、畜産振興基金の県補助を返還</p> <p>[スケジュール]</p> <p>・平成30年4月から運用開始</p>	

事業実績・評価等	
<p>[事業実績]</p> <p>・導入資金保証料補給 15件 42頭 ・導入資金利子補給 4件 32頭 (畜産振興基金の県補助を返還)</p> <p>[評価]</p> <p>・農家の繁殖雌牛導入資金への金融機関からの融資に対する保証料と利子を補給することで、農家の返済計画の選択肢が広がり、経営の安定と繁殖雌牛の増頭に効果があった。</p>	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <p>・導入資金保証料補給 ・導入資金利子補給</p>	
<p>[スケジュール]</p> <p>・導入資金保証料補給 4月～3月 随時 ・導入資金利子補給 上半期 6月末、下半期 12月末</p>	

事業シート(平成30年度決算)

事業名	52210 家畜防疫衛生事業費	予算	会計	1 一般会計	総合計画	基本分野	1 産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5 農林水産業費		個別分野	7 畜産業		
担当課	農政部 畜産課	内線	2240	項	2 畜産業費	施策概要	3 販路の拡大と供給の安定化		
				目	2 畜産振興費	根拠計画			

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・家畜伝染病の発生予防に努め、低コストで高品質な畜産物の安全安心な生産・供給による畜産経営の向上を図る。	概要	・伝染病調査及び発生予防 ・法定家畜伝染病予防接種助成 ・家畜伝染病予防消毒薬備蓄及び配布
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
畜産粗生産額(年間)	104億円	102億円	79億円

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		1,160	1,055	1,160	2,901	2,810	1,755
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(家畜診療等収入)	1,160	851	1,160	1,160	885	34
一般財源			204	0	1,741	1,925	1,721
個票枝番	主な事業内容						
	防疫用医薬品等	900	712	900	900	650	△ 62
	法定家畜伝染病予防補助金	200	138	200	200	130	△ 8
	高山駅周辺における防疫対策				1,770	1,768	1,768
	畜舎防疫設備の整備に対する助成						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		1,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
9,170	7,635	7,635	6,475	
3,000	3,000	3,000	3,000	
1,874	4,460	4,460	3,300	
4,296	175	175	175	
査定額	説明			
900				
175				
3,300				
3,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・伝染病浸潤状況の調査 ・法定家畜伝染病(鶏ニューカッスル病)予防接種助成 55,000羽 ・届出伝染病(牛白血病)抗体検査 1,417頭 ・家畜伝染病対策マニュアルの作成及び周知
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急性のある伝染病等の発生がみられず、防疫事業による予防効果は上がっている。 ・自衛防疫の観点から、生産者自らが防疫措置をとることは重要だが、市及び飛騨地域全体が統一した防疫措置を図る必要があるため、市が主体となって防疫事業を進めることは妥当である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定 <p>・予防接種や伝染病の浸潤調査を実施し、防疫措置を講じていく。</p>

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・伝染病浸潤状況の調査 ・法定家畜伝染病(鶏ニューカッスル病)予防接種助成 52,000羽 ・届出伝染病(牛白血病)抗体検査 1,368頭 ・家畜伝染病対策マニュアルの作成及び周知 ・高山駅周辺への防疫対策 4箇所(H30.11.1-H31.3.31)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・防疫事業による予防効果が発現している。 ・市外からの家畜伝染病の持込を防ぐため、高山駅周辺に消毒用マットを設置し、市内外への防疫啓発と防疫対策を進めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定 <p>・H30.9月に岐阜県内で豚コレラが発生し、感染地域が拡大している。従来からの防疫措置に加え、全畜種を対象とした畜舎防疫設備の整備に対する助成を新たに先行し、防疫対策の強化を進める。</p>

施策の実施方針	・家畜基盤の整備の促進
担当課 予算要求ポイント	・家畜防疫衛生の強化
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成30年度決算)

事業名	52215 家畜人工授精事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
	款	5	農林水産業費		個別分野	7	畜産業						
	項	2	畜産業費		施策概要	2	ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり						
	目	2	畜産振興費		根拠計画								
担当課	農政部 畜産課	内線	2240										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・優良子牛の生産、増頭により家畜の改良増殖を推進し、農家の経営安定を図る。	概要	・家畜改良、増頭の推進 ・和牛、乳牛の家畜人工授精 ・和牛、乳牛の受精卵移植・採卵
----	---------------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
肉用牛繁殖雌牛飼養頭数	3,428頭	3,515頭	3,400頭

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H29		H30			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		24,692	24,326	26,130	25,986	25,737	1,411
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(人工授精等手数料、財産収入等)	7,815	7,562	9,315	9,315	8,718	1,156
一般財源		16,877	16,764	16,815	16,671	17,019	255
個票枝番	主な事業内容						
	家畜人工授精事業	24,692	24,326	24,830	24,686	24,457	131
◎ 1	受精卵移植機材の購入			1,300	1,300	1,280	1,280

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		25,000
要求額	財務部査定額	市長査定額 (d)	増減 (d)-(c)	
26,687	25,500	25,500	△ 630	
8,747	8,515	8,515	△ 800	
17,940	16,985	16,985	170	
査定額	説明			
25,400				
100				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・人工授精 3,486 件 ・受精卵移植 108 件 ・採卵 45 件	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定
評価等	・人工授精業務の市直営班と業務委託先ともに、技術者が農家への指導的立場として業務を実施したことにより「飛驒牛」ブランドの推進につながった。	
次年度以降の考え方(担当課)	・既存の委託先との協議を進め、直営地区の委託化を検討しながら、更なる飛驒牛のブランド化や受胎率の向上を図る。	

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・人工授精 3,138 件 ・受精卵移植 131 件 ・採卵 60 件 ・受精卵移植機材の購入(受精卵凍結器 1台、採卵用資材冷凍器 1台)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定
評価等	・受精卵移植機材の購入活用により、受精卵移植が促進された。 ・人工授精業務の機会を捉え、業務受託組織や市直営班の技術者が、家畜改良に関わる農家への指導啓発と普及を積極的に実施し、「飛驒牛」のブランド力の向上が図られた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・既存の委託先との協議を進め、直営地区の委託化を検討しながら、更なる飛驒牛のブランド化や受胎率の向上を図る。 ・受精卵移植の促進により、飛驒牛の改良と増頭を図る。	

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成30年度決算)

事業名	52215 家畜人工授精事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> H30新規	<input type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農政部 畜産課
枝番・内容	1 受精卵移植機材の購入		<input type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	5	農林水産業費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	畜産業費	内線	2240	
		<input type="checkbox"/>		目		2	畜産振興費	作成年月	R1.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・優良子牛の生産、増頭により家畜の改良増殖を推進し、農家の経営安定を図る。	概要	・受精卵移植に必要な機材の購入
----	---------------------------------------	----	-----------------

【参考】H29決算(Do-Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H30当初予算(Action) H30.3時点 (千円)

予算額	当初	1,300
主な経費	・備品購入	
対前年度増減額(当初予算)		1,300

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	1,300
	繰越	
	補正等	
	最終	1,300
決算額		1,280
対前年度増減額(決算)		1,280

H31当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	100
主な経費	・備品購入	
対前年度増減額(当初予算)		△ 1,200

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <p>・受精卵凍結器等の導入により、受精卵の生存率を高め受胎率を向上 導入機材 受精卵凍結器 1台 採卵用資材冷凍器 1台</p>	
<p>[スケジュール]</p> <p>・6月 機材導入・使用開始</p>	

事業実績・評価等	
<p>[事業実績]</p> <p>・受精卵凍結器等の導入 導入機材 受精卵凍結器 1台 採卵用資材冷凍器 1台</p> <p>[評価]</p> <p>・受精卵凍結器等の導入活用により、受精卵移植が促進された。</p>	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input checked="" type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <p>・受精卵凍結器等の導入により、受精卵の生存率を高め受胎率を向上 導入機材 受精卵移植用冷蔵庫 1台</p>	
<p>[スケジュール]</p> <p>・9月 機材導入・使用開始</p>	

事業シート(平成30年度決算)

事業名	52220 繁殖牛舎整備費助成事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
	款	5	農林水産業費		個別分野	7	畜産業						
	項	2	畜産業費		施策概要	1	活気ある畜産生産地づくり						
	目	2	畜産振興費		根拠計画								
担当課	農政部 畜産課	内線	2240										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・肉用繁殖雌牛飼養頭数3,500頭(H36)を目指すため、飛驒牛の地元畜産率の向上と飛驒牛ブランドの向上を図る。	概要	・牛舎建設等を行う生産農家、新規就農者、農事組合法人又は農業生産法人に対し助成する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
肉用牛繁殖雌牛飼養頭数	3,428頭	3,515頭	3,400頭

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		94,706	86,764	89,110	110,510	47,827	△ 38,937
特定財源	国費 ()						
	県費 (繁殖牛舎等建設支援事業 1/3、1/4、畜産施設災害対策事業7.5/10、6.6/10)	86,706	81,260	61,000	76,800	34,828	△ 46,432
	その他(畜産振興基金繰入金、財産収入)			19,894	19,894	12,999	12,999
一般財源		8,000	5,504	8,216	13,816	0	△ 5,504
個票枝番	主な事業内容						
◎ 1	繁殖牛舎等の整備に対する助成	94,706	86,764	89,110	89,110	35,901	△ 50,863
	台風で被災した畜産施設の修繕に対する助成				21,400	11,926	11,926

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		15,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
120,000	90,000	90,000	890	
77,111	61,700	61,700	700	
			△ 19,894	
42,889	28,300	28,300	20,084	
査定額	説明			
90,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・繁殖牛舎新築 1棟 ・酪農牛舎新設 1棟ほか ・機械導入 4件
評価等	・初期投資の軽減を図ることにより、増頭が促進された。 ・機械導入により、自給飼料生産や畜ふん処理が増進された。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定 ・積極的に事業のPRを行い、畜産農家の負担を軽減し、繁殖雌牛の増頭を促進する。

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	[繁殖牛舎建設支援事業] ・繁殖牛舎新築 1棟 ・酪農牛舎新設 1棟 ・飼料用施設 1基 ・機械導入 3件 [畜産施設災害対策事業] ・畜産施設修繕等 11施設
評価等	・初期投資の負担軽減を図ることにより、増頭が促進された。 ・機械導入により、自給飼料生産や畜ふん処理が増進された。 ・被災した畜産施設の修繕等を支援し、畜産経営の維持が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定 ・畜産農家の負担を軽減し、繁殖雌牛等の増頭を促進する。

施策の実施方針	・畜産基盤の整備の促進
担当課 予算要求ポイント	
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成30年度決算)

事業名	52220 繁殖牛舎整備費助成事業費	区分	<input type="checkbox"/> H30新規	<input type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農政部 畜産課
枝番・内容	1 繁殖牛舎等の整備に対する助成		<input checked="" type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	5	農林水産業費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	畜産業費	内線	2240	
		<input type="checkbox"/>		目		2	畜産振興費	作成年月	R1.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・肉用繁殖雌牛飼養頭数3,500頭(H36)を目指すため、飛騨牛繁殖牛舎の整備を支援する。	概要	・牛舎建設等を行う生産農家、新規就農者、農事組合法人又は農業生産法人に対し助成する。
----	---	----	--

【参考】H29決算(Do-Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	37,650
	繰越	
	補正等	57,056
	最終	94,706
決算額		86,764
対前年度増減額(決算)		79,149

【参考】H30当初予算(Action) H30.3時点 (千円)

予算額	当初	89,110
主な経費	・繁殖牛舎建設等支援事業補助金	
対前年度増減額(当初予算)		51,460

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	89,110
	繰越	
	補正等	
	最終	89,110
決算額		35,901
対前年度増減額(決算)		△ 50,863

H31当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	90,000
主な経費	・繁殖牛舎建設等支援事業補助金	
対前年度増減額(当初予算)		890

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績]	
・支援した施設、機械 繁殖牛舎新築 1棟 酪農牛舎新設 1棟ほか 機械導入 4件	
[評価]	
・6月補正予算により酪農牛舎新築など事業拡充が図られ、乳用牛の増頭も促進された。	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・肥育牛舎、酪農牛舎や堆肥舎や機械導入について県補助金に市費で上乗せ補助	
繁殖牛舎 市:1/2うち県1/3(上限20,000千円) 肥育牛舎・酪農牛舎・堆肥舎・機械導入等 市:1/3 うち県1/4(上限13,333千円) (ただし、新規就農、飼料稲関係施設は市1/2 うち県1/3)	
・支援予定施設 繁殖牛舎新設 2棟 肥育牛舎新設 2棟 堆肥舎 1棟 サイロ 1棟 機械導入 3件	
[スケジュール]	
・平成30年4月から運用開始	

事業実績・評価等	
[事業実績]	
・肥育牛舎や酪農牛舎、飼料用施設、機械導入について県補助金に市費で上乗せ補助	
繁殖牛舎 市:1/2うち県1/3(上限20,000千円) 肥育牛舎・酪農牛舎・堆肥舎・機械導入等 市:1/3 うち県1/4(上限13,333千円) (ただし、新規就農、飼料稲関係施設は市1/2 うち県1/3)	
・支援施設 繁殖牛舎新設 1棟 肥育牛舎改築 1棟 飼料用施設新設 1基 機械導入 3件	
[評価]	
・農家の初期投資の負担軽減により、増頭の促進と自給飼料生産や畜ふん処理が促進された。	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・肥育牛舎、酪農牛舎や堆肥舎や機械導入について県補助金に市費で上乗せ補助	
繁殖牛舎 市:1/2うち県1/3(上限20,000千円) 肥育牛舎・酪農牛舎・堆肥舎・機械導入等 市:1/3 うち県1/4(上限13,333千円) (ただし、新規就農、飼料稲関係施設は市1/2 うち県1/3)	
・支援予定施設 牛舎新設等 5棟 堆肥舎 2棟 その他	
[スケジュール]	
・平成31年4月から順次推進	

事業シート(平成30年度決算)

事業名	52225 家畜改良推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・飛騨・高山の農林畜産品のブランド化をメイド・バイ飛騨高山認証制度なども活用しながら強化するとともに、トップセールスによる市場開拓、市場拡大を目指します。 ・飛騨牛の一貫生産システムを構築・拡充します。
	款	5	農林水産業費		個別分野	7	畜産業						
	項	2	畜産業費		施策概要	2	ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり						
	目	2	畜産振興費		根拠計画								
担当課	農政部 畜産課	内線	2240										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・家畜の改良度や方向性の確認のため各種品評会を開催することにより、畜産物のブランド化を進め、農家の意欲向上による増産を図る。	概要	・各種品評会の開催
----	--	----	-----------

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
肉用牛繁殖雌牛頭数	3,428頭	3,515頭	3,400頭

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H29		H30			増減(b)-(a)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	
		7,842	7,731	2,000	1,921	1,800	△ 5,931
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(財産収入、雑入)	2,224	3,323	1,424	1,424	1,800	△ 1,523
一般財源		5,618	4,408	576	497	0	△ 4,408
個票枝番	主な事業内容						
◎ 1	全国和牛能力共進会に向けた支援	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	0
	家畜改良推進事業	6,842	6,731	1,000	1,000	800	△ 5,931

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		1,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
2,401	2,250	2,250	250	
624	1,250	1,250	△ 174	
1,777	1,000	1,000	424	
査定額	説明			
1,250				
1,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・市畜産共進会の開催 ・全国和牛能力共進会(飛騨畜産振興会)最終候補牛、出場牛への支援
評価等	・全国和牛能力共進会県代表出場牛のほとんどを高山市が占め、飛騨高山高校が最優秀賞を獲得した。 ・市畜産共進会等の開催により、畜産農家相互の意見交換や家畜改良の方向性等を確認することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・市畜産共進会の開催 ・次期全国和牛能力共進会への支援(飛騨畜産振興会への負担金)
評価等	・市畜産共進会の開催による畜産農家の意識向上が図られた。 ・飛騨畜産振興会への負担金支出により、次期全国和牛能力共進会へ向けての体制強化(受精卵移植の促進)を図った。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	・畜産基盤の整備の促進
担当課 予算要求ポイント	・次回全国和牛能力共進会に向けた支援

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成30年度決算)

事業名	52225 家畜改良推進事業費	区分	<input type="checkbox"/> H30新規	<input type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農政部 畜産課
枝番・内容	1 全国和牛能力共進会に向けた支援		<input checked="" type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	5	農林水産業費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	畜産業費	内線	2240	
		<input type="checkbox"/>		目		2	畜産振興費	作成年月	R1.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の全国和牛能力共進会に向けた対策を検討実施する。 ・全国和牛能力共進会を契機に、飛驒牛の日本一奪還など関係者意識の高揚とともに家畜改良技術の向上を目指し、畜産物のブランド化及び農家の意欲向上による増産を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の全国和牛能力共進会に向けた体制強化 ・全国和牛能力共進会負担金(飛驒畜産振興会)候補牛支援
----	--	----	--

【参考】H29決算(Do-Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	1,000
	繰越	
	補正等	
	最終	1,000
決算額		1,000
対前年度増減額(決算)		0

【参考】H30当初予算(Action) H30.3時点 (千円)

予算額	当初	1,000
主な経費	・全国和牛能力共進会負担金(飛驒畜産振興会)	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	1,000
	繰越	
	補正等	
	最終	1,000
決算額		1,000
対前年度増減額(決算)		0

H31当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	1,250
主な経費	・全国和牛能力共進会負担金(飛驒畜産振興会)	
対前年度増減額(当初予算)		250

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績]	
<ul style="list-style-type: none"> ・全国和牛能力共進会最終候補牛、出場牛への報償 47頭 ・全国和牛能力共進会負担金(飛驒畜産振興会)最終候補牛、出場牛への支援 	
[評価]	
<ul style="list-style-type: none"> ・目標の最優秀枝肉賞の受賞は叶わなかったが、県代表出場牛のほとんどを高山市が占め、飛驒高山高校は最優秀賞を獲得した。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
<ul style="list-style-type: none"> ・飛驒畜産振興会への全国和牛能力共進会対策負担金受精卵移植の促進 	
[スケジュール]	
<ul style="list-style-type: none"> ・5月 飛驒畜産振興会事務レベル調整 飛驒畜産振興会幹事会で方針決定 ・6月 決定事業の実施 	

事業実績・評価等	
[事業実績]	
<ul style="list-style-type: none"> ・飛驒畜産振興会への全国和牛能力共進会対策負担金受精卵移植の促進 	
[評価]	
<ul style="list-style-type: none"> ・次期全国和牛能力共進会へ向けての体制強化が図られた。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
<ul style="list-style-type: none"> ・飛驒畜産振興会への全国和牛能力共進会対策負担金受精卵移植の促進 市民応援団積立 	
[スケジュール]	
<ul style="list-style-type: none"> ・7月 飛驒畜産振興会事務レベル調整 飛驒畜産振興会幹事会で方針決定 ・8月 決定事業の実施 	

事業シート(平成30年度決算)

事業名	52230 牧場運営事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
	款	5	農林水産業費		個別分野	7	畜産業						
	項	2	畜産業費		施策概要	1	活気ある畜産生産地づくり						
	目	2	畜産振興費		根拠計画								
担当課	農政部 畜産課	内線	2240										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・夏山冬里方式の飼養管理として放牧を推進し、他産業との複合経営の促進、飛驒牛の低コスト生産及び増産を図る。	概要	・放牧場の整備・充実を図るとともに、適正な牧場利用調整・推進を図る。
----	---	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
畜産粗生産額(年間)	104億円	102億円	79億円
地域内飼料自給率	29%	29%	31%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		20,556	19,432	21,550	22,289	21,792	2,360
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(放牧料、財産収入)	7,800	6,120	20,850	20,850	18,754	12,634
一般財源		12,756	13,312	700	1,439	3,038	△ 10,274
個票枝番	主な事業内容						
	市営牧場の管理委託(岩井、久手、小鳥山、一色、飛驒御岳)	13,750	13,586	13,850	13,850	13,850	264
	施設修繕	1,000	627	1,200	1,518	2,106	1,479

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		22,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
24,823	21,850	21,850	300	
19,438	14,550	14,550	△ 6,300	
5,385	7,300	7,300	6,600	
査定額	説明			
13,850				
1,500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・5牧場における放牧延べ頭数 40,802頭
評価等	・夏山冬里方式により、畜産農家の負担が軽減され、更に飛驒牛の安定生産・飛驒牛ブランドの向上が図られている。 ・牧場の現状に応じた放牧頭数の調整を行い、堆肥・肥料・牧草種子散布等により放牧場を活性化し、放牧頭数の増頭策を講じた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定
	・牧場の管理方法と牧場における迅速な家畜伝染病防疫体制の強化

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・5牧場における放牧延べ頭数 40,544頭
評価等	・夏山冬里方式により、畜産農家の負担が軽減され、更に飛驒牛の安定生産・飛驒牛ブランド力の向上が図られている。 ・牧場の現状に応じた放牧頭数の調整を行い、堆肥・肥料・牧草種子散布等により放牧場を活性化し、放牧頭数の増頭策を講じた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定
	・牧場の管理方法と牧場における迅速な家畜伝染病防疫体制の強化

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成30年度決算)

事業名	52235 優良飛驒牛固定推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
	款	5	農林水産業費		個別分野	7	畜産業						
	項	2	畜産業費		施策概要	2	ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり						
	目	2	畜産振興費		根拠計画								
担当課	農政部 畜産課	内線	2240										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・遺伝的に生産性が高い繁殖牛や優良な乳用牛の保留または導入によるブランド強化	概要	・優良飛驒牛、優良乳用牛増頭に対する助成 ・家畜共済対象外の早期の流死産等の事故に対する互助のための基金造成
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
生乳生産量(年間)	10,029t	9,360t	10,000t

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H29		H30		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		42,070	33,668	42,070	39,814	469
特定財源	国費()					
	県費(繁殖雌牛増頭支援事業費 10/10)	1,500	0	1,500	2,400	2,400
	その他(優良雌牛保留対策事業雑入、基金繰入金)	17,550	13,455	17,550	30,192	16,737
一般財源		23,020	20,213	23,020	20,764	△ 18,668
個票枝番	主な事業内容					
	優良雌牛確保対策に対する助成	35,100	26,910	35,100	33,764	468
	優良乳用牛保留・導入に対する助成	1,050	1,050	1,050	1,050	0
	優良飛驒牛増頭推進事業	5,000	5,000	5,000	5,000	0

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		42,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
42,020	42,070	42,070	0	
1,500	1,500	1,500	0	
17,550	17,550	17,550	0	
22,970	23,020	23,020	0	
査定額	説明			
35,100	優良雌牛確保対策事業補助金			
1,050	優良乳用牛保留・導入推進事業補助金			
5,000	優良飛驒牛増頭推進事業補助金			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・優良雌牛確保対策 115頭 ・優良飛驒牛増頭推進 50頭 ・優良乳用牛保留・導入対策 30頭
評価等	・肉用繁殖雌牛や乳用牛育成にかかる畜産経費は大きな負担であるが、本事業はブランド強化、増頭、経営維持に有効である。 ・家畜共済で補填されない流死産等の子牛事故に対する互助事業を支援することにより、繁殖経営の影響を和らげた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・優良雌牛確保対策 117頭 ・優良飛驒牛増頭推進 50頭 ・優良乳用牛保留・導入対策 30頭
評価等	・肉用繁殖雌牛や乳用牛育成にかかる畜産経費は大きな負担であるが、本事業はブランド強化、増頭、経営維持に有効である。 ・家畜共済で補填されない流死産等の子牛事故に対する互助事業を支援することにより、繁殖経営の影響を和らげた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・優良牛等の保留・導入の促進

財務部 査定の考え方	・要求どおり
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成30年度決算)

事業名	52245 飛騨食肉センター助成事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
	款	5	農林水産業費		個別分野	7	畜産業						
	項	2	畜産業費		施策概要	3	販路の拡大と供給の安定化						
	目	2	畜産業費		根拠計画								
担当課	農政部 畜産課	内線	2240										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・畜産の振興及び安全・安心な食肉の安定供給	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・危険部位焼却に係る経費の一部助成(BSE対策) ・食肉センター建設に係る地元負担金(債務負担) ・豚と畜ライン停止による近隣と畜場への輸送費等の助成 ・と畜部門運営経費の一部助成
----	-----------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
肉用肥育牛飼養頭数	5,266頭	5,417頭	6,200頭
肉豚出荷頭数	5,626頭	5,720頭	6,000頭

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		68,515	65,842	68,500	68,500	65,039	△ 803
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		68,515	65,842	68,500	68,500	65,039	△ 803
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨食肉センター建設助成事業(債務負担)	25,755	25,755	25,755	25,755	25,755	0
	BSE対策、肉豚出荷等に対する助成	42,760	40,087	42,740	42,740	39,284	△ 803

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		68,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
68,397	68,405	68,405	△ 95	
68,397	68,405	68,405	△ 95	
査定額	説明			
25,755				
42,650				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・危険部位焼却に係る経費の一部助成(BSE対策) ・食肉センター建設に係る地元負担金(債務負担) ・豚と畜ライン停止による近隣と畜場への輸送費等の助成 ・と畜部門運営経費の一部助成
評価等	・食味性が高い飛騨牛が飛騨食肉センターを介して、安全安心な畜産物として国内外に供給されることで、更にブランド力が増進されている。飛騨広域の支援により、極めて高い衛生レベルで食肉処理加工が実施できている。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・危険部位焼却に係る経費の一部助成(BSE対策) ・食肉センター建設に係る地元負担金(債務負担) ・豚と畜ライン停止による近隣と畜場への輸送費等の助成 ・と畜部門運営経費の一部助成
評価等	・食味性が高い飛騨牛が飛騨食肉センターを介して、安全安心な畜産物として国内外に供給されることで、更にブランド力が増進されている。飛騨広域の支援により、極めて高い衛生レベルで食肉処理加工が実施できている。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・飛騨食肉センターの円滑な運営
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり